

***BOSE***<sup>®</sup>



---

# LIFESTYLE<sup>®</sup> 135 series II

## home entertainment system

---

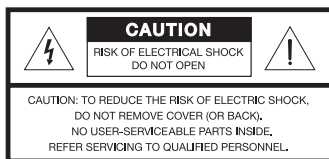
① 設置ガイド


# 安全上の留意項目


このガイドは必ずお読みください。


ガイドの指示に注意して、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分に活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐにご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。


Bose®製品をご使用いただく際は、必ず地域と業界指導の安全基準に従ってください。




 正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

 正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

 **警告:** のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

-  **警告:**
- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
  - 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
  - 極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。
  - 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

-  **注意:**
- システムやアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、システムの安全性と性能が損なわれるだけでなく、法令遵守の問題が生じ、製品保証が無効となる場合があります。
  - 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間に渡るヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

HDMIおよびHDMIのロゴはHDMI Licensing, LLCの米国および他の国々における商標または登録商標です。

©2013 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複製、変更、配布、その他の使用は許可されません。

## 注記:

- 製品ラベルは本体の底または裏面にあります。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 電源アダプターは、必ず製品に付属しているものをご使用ください。
- 付属のケーブル類は、壁内や天井裏、床下等の隠ぺい配線用ではありません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。



廃電池請回収

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。  
焼却しないでください。



Bose® Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: [www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance).

## Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements

Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

## 製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、製品の底面に記載されています。

Lifestyle®のモデル: \_\_\_\_\_

コンソールのシリアル番号: \_\_\_\_\_

Acoustimass®のシリアル番号: \_\_\_\_\_

スピーカーアレイのシリアル番号: \_\_\_\_\_


購入日: \_\_\_\_\_

この①設置ガイドおよび②操作ガイドと共に、ご購入時の領収書と保証書を保管することをおすすめします。

# 安全上の留意項目

---

## 安全上重要な指示

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れには乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の刃および接地極付きプラグのアース棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気工事業者などにご相談ください。
10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
11. 必ずボーズ社により指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
12.  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
13. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
14. 修理が必要な際には、サービスセンターにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

## その他ご注意ください

その他の注意事項については、製品に同梱の『安全上の重要なご注意』シートを参照してください(北米のみ)。

**はじめに**

お買い上げありがとうございます .....	6
付属品の確認 .....	6
内容物 .....	6
付属品の箱 .....	6
ウォールマウントキット .....	7

**システム設定**

システムコンポーネントの接続 .....	8
ステップ1: スピーカーアレイの設定 .....	8
ステップ2: コンソールのセットアップ .....	11
ステップ3: Acoustimass®モジュールのセットアップ .....	14
システムの起動 .....	15
ステップ1: リモコンの設定 .....	16
ステップ2: システムの起動 .....	16
セットアップ時のトラブル .....	17
お問い合わせ先 .....	17

## はじめに

# お買い上げありがとうございます

Bose® LIFESTYLE® 135 Series II home entertainment systemをお買い上げいただき、ありがとうございます。このガイドでは、ご購入いただいたシステムをセットアップする方法について、順を追ってご説明いたします。システムのご購入時は、まずこちらの「①設置ガイド」を先にお読みください。

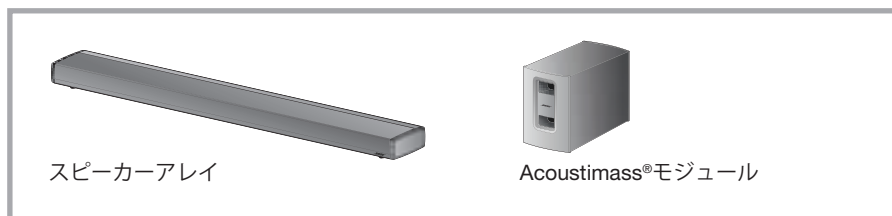
LIFESTYLE 135 Series II ホームエンターテインメントシステムは、スピーカーアレイ、コンソール、Acoustimass®モジュール、ユニバーサルリモコンで構成されます。

## 付属品の確認

箱の中身を取り出した際に、もしも付属品が不足している場合や損傷などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、直ちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はおやめください。

箱や梱包材は、後日修理やメンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

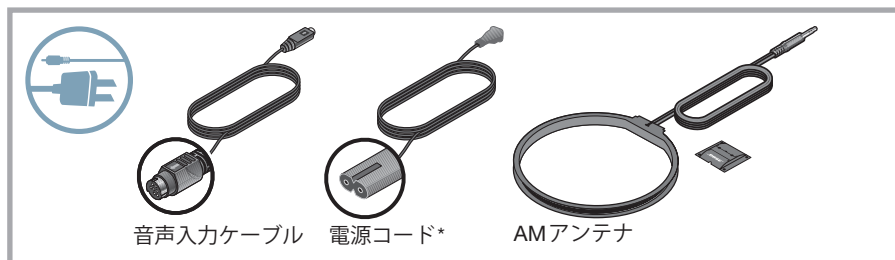
## 内容物



## 付属品の箱

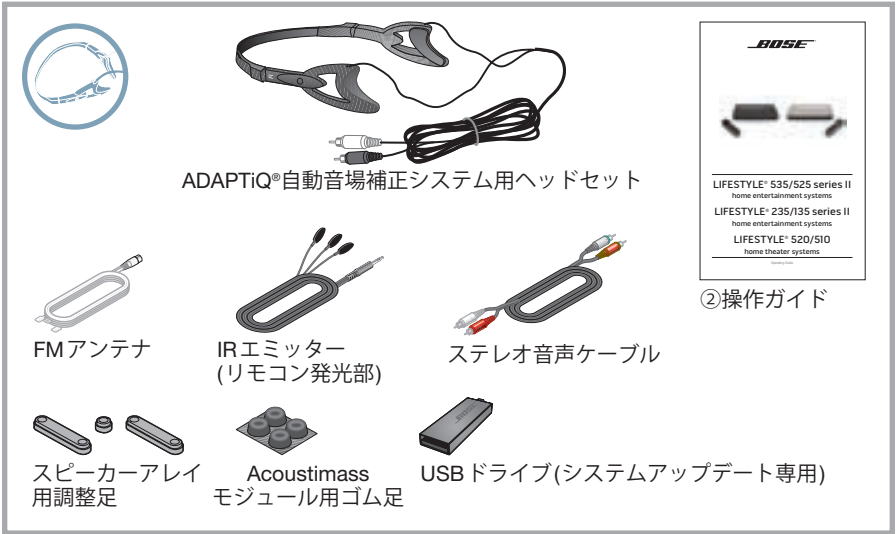
付属品の箱は、それぞれの箱に印刷されているアイコンによって区別できます。これらのアイコンは、システムのセットアップ手順でパーツの場所を示すために使用されます。

### • ケーブル・電源コードの箱

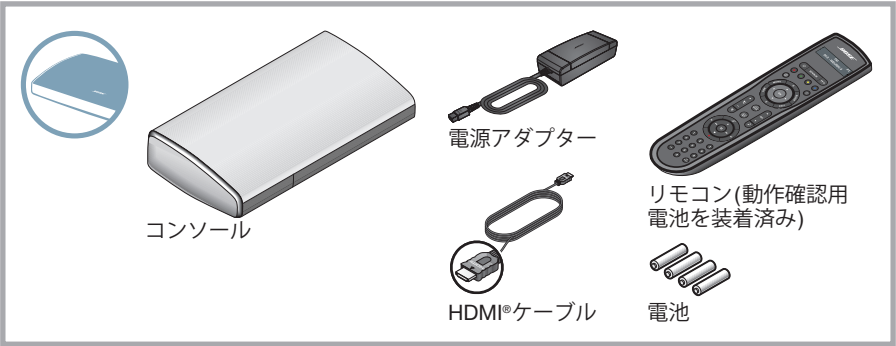


\*電源コードはご使用の国に適したものが提供されています。

## • エッセンシャルパーツの箱



## • コンソールの箱



## ウォールマウントキット

スピーカーアレイは壁に取り付けて使用できます。壁に取り付けて使用するには、ボーズ販売店にお問い合わせの上、ウォールマウントキットWB-135をご購入ください。

### 注意:

- ウォールマウントキットWB-135以外の壁掛け用金具を使ってスピーカーアレイを壁に取り付けることはおやめください。
- スピーカーアレイを暖炉などの熱源の近くに置かないでください。暖炉などの上に設置したことが原因でスピーカーアレイが破損した場合、LIFESTYLE® systemに関する保証は適用されません。

# システム設定

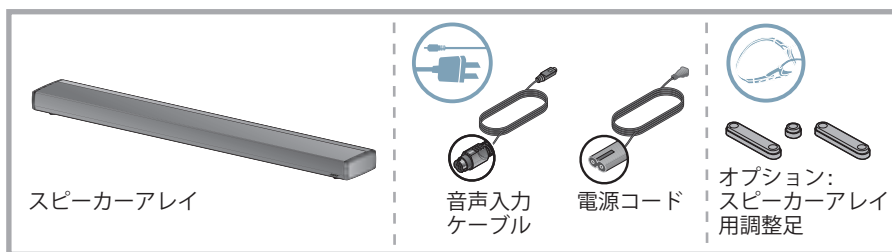
## システムコンポーネントの接続

### 注記:

- LIFESTYLE® 135 Series II ホームエンターテインメントシステムは、室内の反響面を利用して広がりのある豊かなサウンドを実現しています。最高の音質をお楽しみいただくため、スピーカーアレイを戸棚の中に設置したり、お部屋の角に斜めに設置することは避けてください。
- スピーカーアレイおよびAcoustimass®モジュールを、コンピューター用ワイヤレスネットワークルーター、コードレス電話、電子レンジ、その他のWi-Fi®対応AV機器など、ほかのワイヤレス機器から離れた場所に設置してください。

### ステップ1: スピーカーアレイの設定

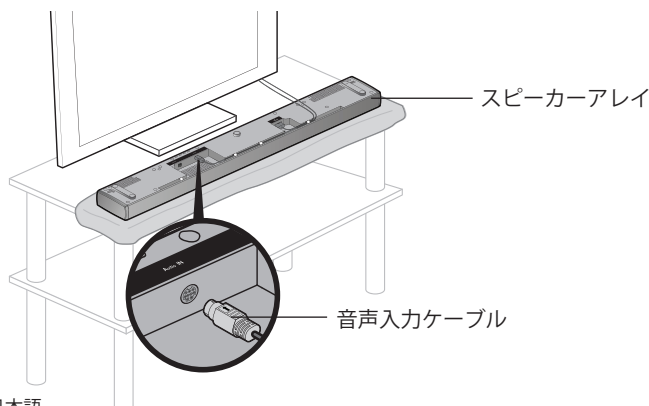
必要となるもの:



- A. スピーカーアレイのグリル側を下に向けて、テレビ台のテレビの前に置きます。

### 注記:

- このときスピーカーアレイの下に保護用の布を置くと、テレビ台の表面が傷つくのを防ぐことができます。スピーカーアレイを包んでいた保護カバーを使用することもできます。
  - システムを使用する前に、スピーカーアレイから全ての保護フィルムを剥がしてください。保護フィルムが残っていると、オーディオパフォーマンスが低下する原因となります。
- B. 音声入力ケーブルをスピーカーアレイの[Audio In]端子に差し込みます。矢印が表示された平らな面を上に向けてプラグを差し込んでください。

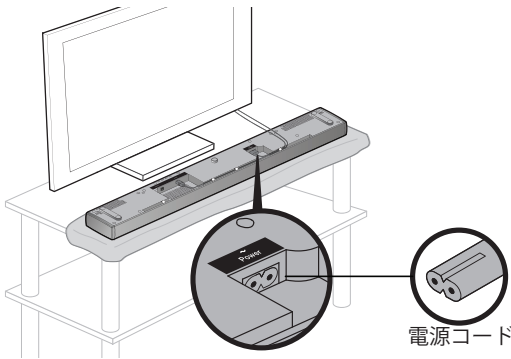




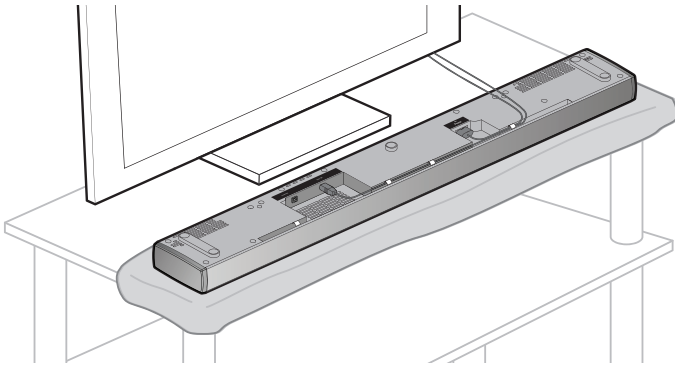
## システム設定

- C. 電源コードの小さい方のプラグを、[Power]というラベルの付いた端子に差し込みます。

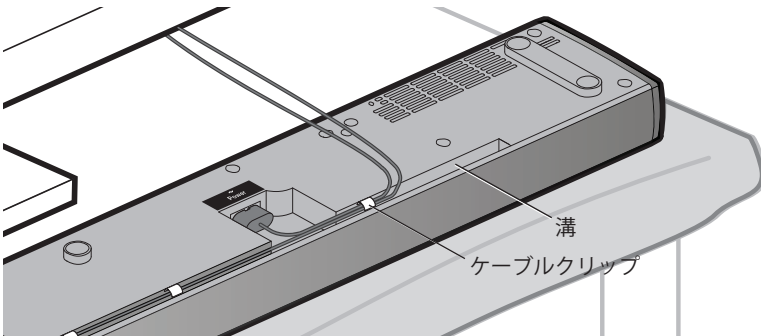
**注記:** 電源コードは、まだ電源コンセントに差し込まないでください。コンセントへの接続は、このセットアップ手順の後半で行います。



- D. 設置場所のニーズに応じてケーブルを配置します。



オプション: スピーカーアレイの長い方の辺に沿って設けられた溝部分にあるクリップの下にケーブルを固定することもできます。

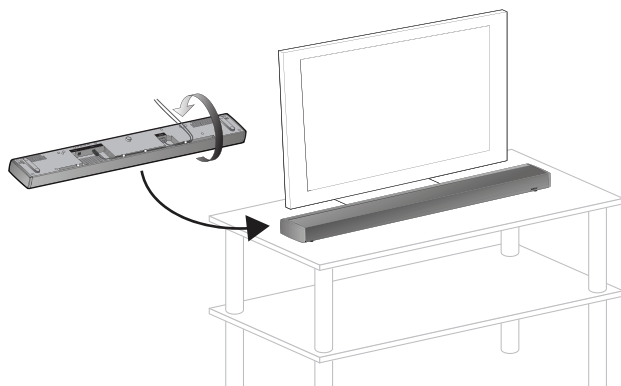


## システム設定

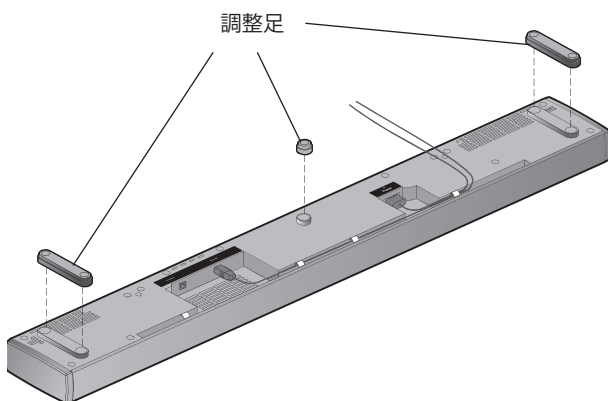
- E. スピーカーアレイをひっくり返し、スピーカーグリルを部屋の中心に向けた状態でテレビの前に配置します。

### 注意:

- スピーカーアレイは安定した平らな面に設置してください。正しく設置するには、スピーカーアレイの底にある足が全て台の上にとっかりと載っている必要があります。
- スピーカーアレイを設置するときは、テレビの通気孔を塞がないように注意してください。お使いのテレビに付属している取扱説明書を参照し、製造元の指示に従って設置してください。

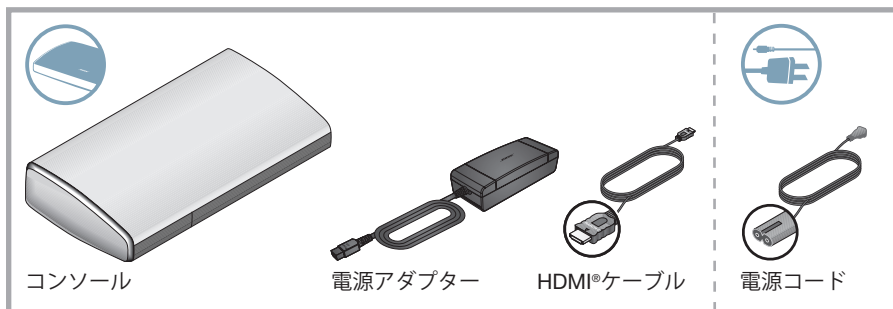


- F. オプション: スピーカーアレイの位置を高くして台とアレイの間にスペースを空けるには、オプションとして製品に付属の調整足を取り付けます。

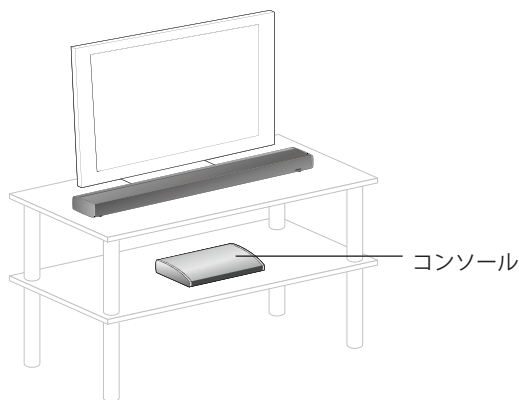


## ステップ2: コンソールのセットアップ

必要となるもの:



A. コンソールは、テレビに近い安定した場所に水平に設置します。

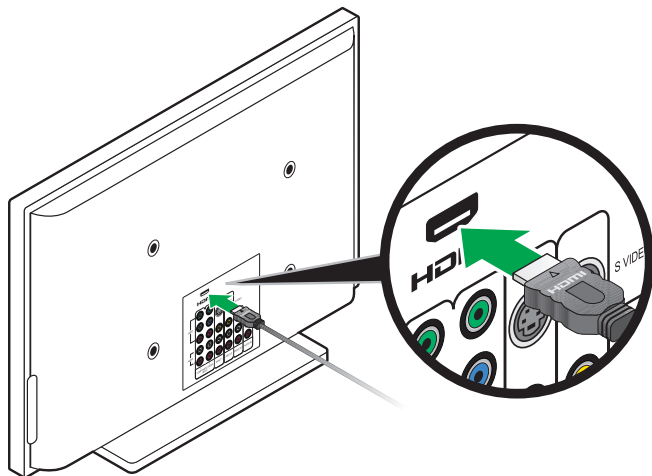


**注記:** システムの設置が完了するまで、コンソールはひとまず背面パネルにある接続部に手が届きやすい場所に仮置きすることをおすすめします。

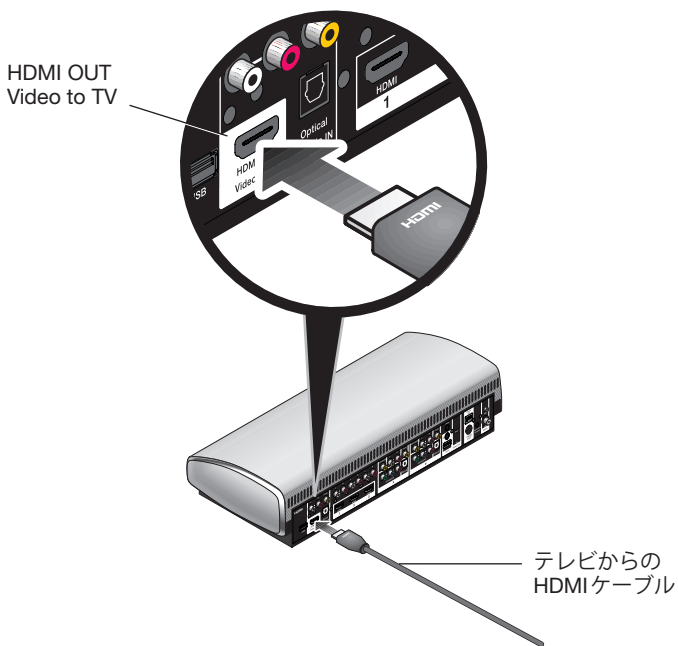
# システム設定

B. HDMI®ケーブルの片側をテレビのHDMI入力端子に差し込みます。

**注記:** テレビのHDMI入力にHDMIケーブルを接続済みの場合は、接続されているケーブルをそのまま使用するため、反対側を抜いてください。



C. HDMIケーブルの反対側を、コンソールの[HDMI OUT Video to TV]端子に差し込みます。

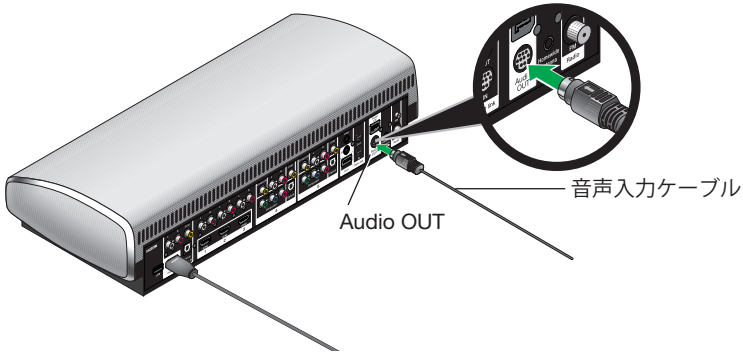


## システム設定

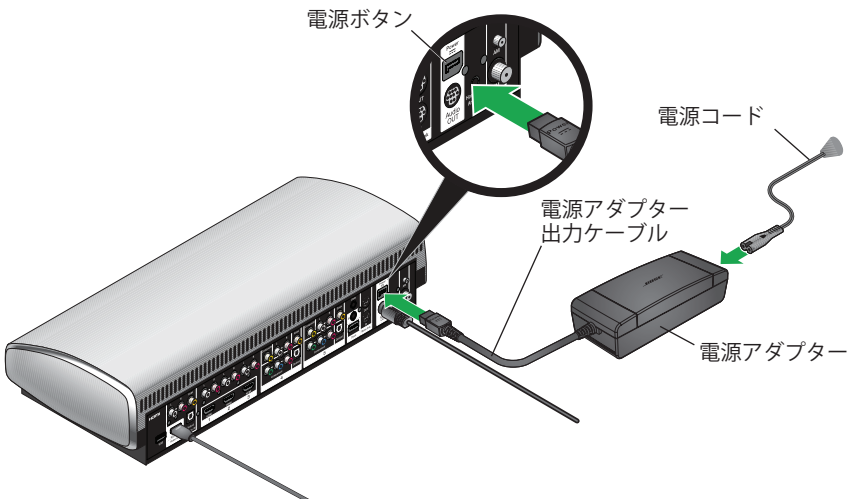
- D. スピーカーアレイに接続した音声入力ケーブルを、コンソールの[Audio OUT]端子に接続します。

矢印が表示された平らな面を上に向けてプラグを差し込んでください。

**注記:** 音声入力ケーブルを[Bose Link]端子に差し込まないでください。



- E. 電源アダプター出力ケーブルをコンソールの[Power]端子に差し込みます。

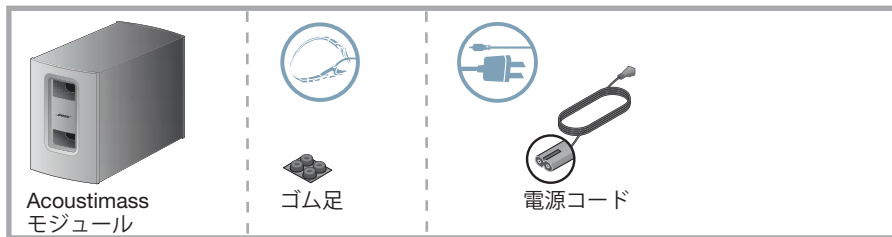


- F. 電源コードを電源アダプターに差し込みます。
- G. スピーカーアレイとコンソールの電源コードを電源コンセントに差し込みます。

# システム設定

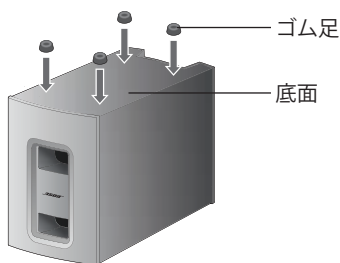
## ステップ3: Acoustimass®モジュールのセットアップ

必要となるもの:

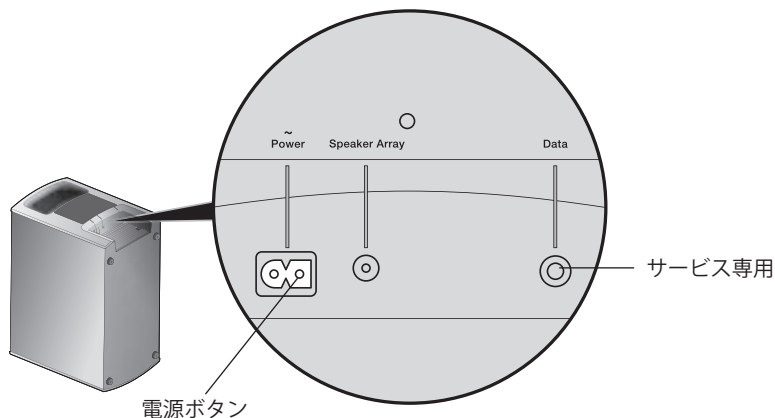


**注意:** Acoustimassモジュールは安定した水平な面に設置する必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でスピーカーの位置がずれることがあります。

- A.** Acoustimassモジュールを床やその他の滑りやすい面に直接置く場合は、安定性の向上と床の保護のため、モジュールの下に付属のゴム足を取り付けることをおすすめします。



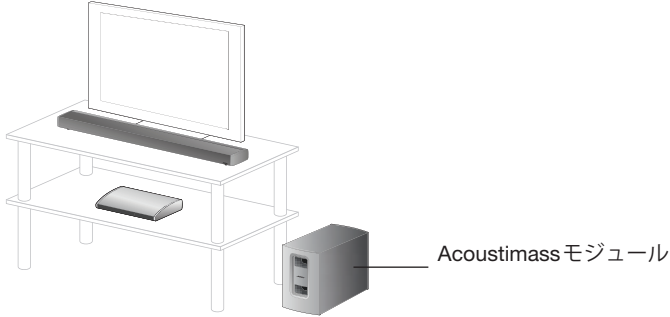
- B.** 電源コードの小さい方のプラグを、[Power]端子に差し込みます。



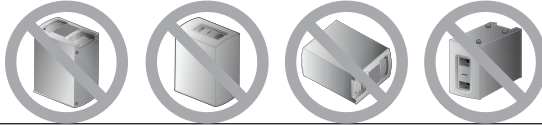
# システム設定

C. 次のガイドラインに沿ってアコースティマスモジュールを設置します。

- 最高の音質を得るには、アコースティマスモジュールをテレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。
- モジュール前面の開口部はどちらの方向を向けてもかまいません。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。



**注意:** Acoustimass モジュールの前面や背面を底にした状態や、横倒し、または天地逆の状態で使用しないでください。



**注記:** システムを使用する前に、Acoustimassモジュールから全ての保護フィルムを剥がしてください。保護フィルムが残っていると、オーディオパフォーマンスが低下する原因となります。

D. アクーティマスモジュールの電源コードを電源コンセントに差し込みます。

## システムの起動

必要となるもの:



作業を始める前に:

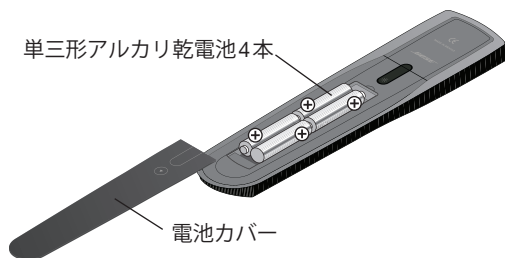
- コンソールには、まだ他の機器を接続しないでください。テレビ画面に表示される手順に従って、機器を接続してください。
- ADAPTIQ®システムによる自動音場補正を行う前に、スピーカーアレイとアクーティマスモジュールが実際に使用する場所に設置されている事を確認してください。

# システム設定

---

## ステップ1: リモコンの設定

- A. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして外します。

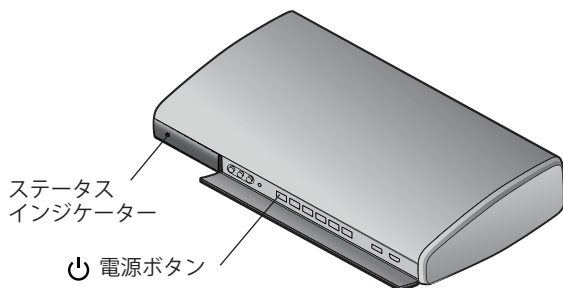


- B. 電池ケースに表示されている+と-の向きと乾電池の+と-の向きを正しく合わせて、単三形アルカリ乾電池4本を入れます。
- C. 電池カバーを元通りにスライドして閉じます。

## ステップ2: システムの起動

- A. コンソールの電源ボタンを押して、システムの電源を入れます。

電源投入時は省電力状態から復帰するため、起動までに数秒～十数秒間を要します。コンソールのステータスインジケータの点滅が緑の点灯に変わると、システムが使用可能な状態になります。





- B. スピーカーアレイのステータスランプが消灯していることを確認してください。

ステータスインジケーター



## ステータスインジケーターがオレンジ色に点滅する場合:

- スピーカーアレイとAcoustimass®モジュールの間にワイヤレス接続が確立されていません。
  - ②操作ガイドの後半にある「故障かな?と思ったら」の表を参照し、「音が出ない」の対処方法に従ってください。
- C. テレビの電源を入れます。
- D. テレビのリモコンまたはテレビ本体のボタンを使用して、テレビ入力をLIFESTYLE® 135 Series IIホームエンターテインメントシステムを接続したHDMI入力に切り替えます。
- E. テレビ画面に表示される手順に従い、UNIFY®テクノロジーによるセットアップを完了します。セットアップの流れは、以下の通りです。
- 言語を選択します。
  - ADAPTIQ®自動音場補正システムを実行します。
  - UNIFY®テクノロジーのナビゲーションに従い、AV機器を接続してセットアップします。
  - Bose®リモコンで接続機器を操作できるように設定します。

## セットアップ時のトラブル

機器がリモコンに反応しない場合や接続に障害がある場合など、セットアップ中にトラブルが発生したときは、いつでもUnify®メニューに戻って、システム設定を修正または一部変更することができます。詳しくは、②操作ガイドの「システム設定の変更」をご参照ください。

トラブルが発生した場合の解決方法については、②操作ガイドの「故障かな?と思ったら」をご参照ください。

## お問い合わせ先

### 故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター  
お客様専用ナビダイヤル ☎0570-080-023  
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。  
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9  
唐木田センタービル

### 製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター  
お客様専用ナビダイヤル ☎0570-080-021  
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。







374874-0010

***BOSE***<sup>®</sup>  
*Better sound through research*<sup>®</sup>

©2013 Bose Corporation, The Mountain,  
Framingham, MA 01701-9168 USA  
AM374874\_00 Rev. 00